

令和 3 年度

事務事業評価表 (令和 2 年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 20 日

事務事業名		ファミリーサポート・センター事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010101000464
						単独/補助	補助		040201
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	児童福祉課
総合計画の施策名		0101 子育て支援及び少子化対策の推進						課長名	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						グループ	子育て支援G
施策名		01 子育て支援及び少子化対策の推進						担当者名	
手段名		01 ①子育ての支援体制の充実							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	03	02	02	07	00	子ども・子育て支援交付金事業		
法令根拠		子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援交付金交付要綱							
		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 子育て援助活動支援事業 核家族化や女性の社会進出が進むなか、子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを推進するために、既存の子育て支援を補完するサービスとして「ファミリーサポートセンター事業」を実施する。 ファミリーサポートセンター事業は、乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい者と当該援助を行いたい者との相互援助活動を推進し、既存の体制では応じきれない変動的、変則的な保育ニーズに対応する。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 桜川市社会福祉協議会への事業委託。 ファミリーサポートセンターにアドバイザー (相互援助活動の調整等の事務を行う者) を配置し、事業の周知、会員の募集・登録、相互援助活動の調整・把握等、会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催、会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催、子育て支援拠点事業との連絡調整を実施する。 国・県交付金申請9月、変更交付申請12月、実績報告3月

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川市社会福祉協議会への事業委託。ファミリーサポートセンターにアドバイザーを配置し、事業の周知、会員の募集・登録、相互援助活動の調整、講習会・交流会の開催、子育て支援拠点事業との連絡調整を実施。	子育ての援助を必要として登録会員数	人	571.00	575.00	575.00	575.00	575.00
	子育ての支援ができるとして登録会員数	人	23.00	23.00	25.00	25.00	0.00
	利用件数	件	0.00	0.00	20.00	20.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
子育ての援助を必要とする世帯 子育ての援助を行うことができる人	保育所入所児童数	人	1,032.00	1,018.00	1,018.00	1,018.00	1,018.00
	学童クラブ利用児童数	人	552.00	586.00	586.00	586.00	586.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
安心して仕事と子育ての両立ができるようにする	安心して仕事と子育ての両立できると答えた市民	%	64.10	66.50	66.50	66.50	66.50
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度	02年度	03年度		期間限定	
		(実績)	(実績)	(計画)		総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	666	666	666	0
		県支出金	千円	666	666	666	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	668	668	668	0
	事業費計 (A)	千円	2,000	2,000	2,000	0	
	正規職員従事人数	人	5.00人	4.00人	4.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
		合計	2,000		合計	2,000

事務事業名	ファミリーサポート・センター事業	事務事業No.	10101000464	所属課	児童福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 核家族世帯、ひとり親世帯の増加、三世帯世帯の減少等家族構成の変化や共働き世帯の増加などを背景に子育てニーズは多様化している。安心して仕事と子育ての両立ができるようにするためには、ニーズに応じた子育て支援を選択できるような体制の充実が求められており、桜川市第1次総合計画（後期基本計画）における『子育て支援及び少子化対策』の主要事業となっていたため。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ファミリーサポートセンター事業のアンケート調査においては、事業を必要とする声がある反面、制度の使いにくさ、他人に育児を託すのが不安だという意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画における『子育て支援の充実と少子化対策の推進』の主要事業である。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国が少子化対策として進めている子育て支援事業なので妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 事業の周知を十分に行い認知度を高めること、利用者目録での事業内容の見直しを行うことで成果向上が期待できる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 保護者が仕事と育児を両立し安心して働くことができる環境づくりに影響する。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 補助制度に基づき事業費を支出しているため削減余地がない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 登録会員が利用するため公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	各学童クラブにポスターを掲示し、ファミリーサポートセンターの周知啓発を行ったことから認知度は高まってきている。しかし、利用者数の増加につながっていない状況となっており、利用者目録に立っての利用のしやすさの向上が求められている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 登録者は多いが、利用者の実績がない状態にあるため、利用対象者の声を聞き何が良くないのかを検証し、利用率の向上を図る必要がある。また、利用料金の額についても見直しなどを検討する必要がある。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			X	低下			X
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			X																						
	低下			X																						
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>